

追加認定の概要

認定番号と名称等(単位:mm)

認定番号	名称	JIS折板分類	鋼板厚さ	許容梁間	鋼板種類
FP030RF-0501	ガラス繊維シート断熱材裏張/ めっき鋼板製折板屋根 スーパーフェルトンⅢ(ニチアス) 5~10mm	K 0920	0.6~1.2	2,250以下	共通
FP030RF-0502		K 1525	0.8~1.2	3,750以下	
FP030RF-0633		H 1750	0.8~1.2	4,500以下	
FP030RF-0925		H0930-1山	0.6~1.2	3,500以下	
FP030RF-0927		H0930-2山	0.6~1.2	3,500以下	
FP030RF-1504		K 0740	0.6~1.2	1,220以下	
FP030RF-0552	無機質高充填フォームプラスチック裏張/ めっき鋼板製折板屋根 フネンエース(古河電気工業) 4~9mm	K 0920	0.6~1.2	1,800以下	
FP030RF-0550		K 1525	0.8~1.2	1,800以下	
FP030RF-0632		H 1750	0.8~1.2	4,000以下	
FP030RF-1496		H0930-1山	0.6~1.2	1,850以下	
FP030RF-1440		H0930-2山	0.6~1.2	1,900以下	
FP030RF-1505		K 0740	0.6~1.2	1,220以下	

・認定により適用できるタイトフレーム材質・形状・幅・厚み(2.3~4.5mm)

*JIS折板分類は、JIS A 6514を参照のこと

金属屋根構法選択の目安

屋根構法→		一文字 葺き	心木あり 瓦棒葺き	心木なし 瓦棒葺き	立平・ 蟻掛け 葺き	波板 葺き	折板 葺き	横葺き	金属瓦 葺き	フラット ルーフ	ステンレス シート 防水	パーフェクト ルーフ	
↓条件	最低勾配	30/100	10/100	5/100	5/100	30/100	3/100	25/100	30/100	3/100	1/100	3.5/100	
	流れ寸法(m)	10以下	10以下	40以下	10以下	10以下	50以下	20以下	10以下	30以下	50以下	-	
規模 及び 勾配	アーチ屋根 最小曲げ 半径(m)	自然曲率	5	30	20	15	20	125~ 250	(1)	100	30	15	0.9
		アール成形 さざ波ほか	-	-	0.8	7	-	30~50	-	-	7~30	2	0.5
		カービング プレス加工	-	-	-	-	-	0.45~ 0.6	-	-	-	-	-
	反り屋根の 最小曲げ半径(m)	5	200	200	200	150	300	(1)	100	300	2	0.9	
下 地 構 法	木造	○	○	○	○	○	△	○	○	△	△	○	
	鉄骨造	△	△	部分△ 通し○	△	○	○	○	△	○	○	○	
	R C造	△	△	△	△	△	○	△	△	△	○	○	
屋 根 形 状	片流れ 招き 切妻	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	寄せ棟 方 形 入母屋 半切妻	○	○	○	○	○~△	○	○~△	○~△	○~△	○	○	
	マンサード 腰折れ	○	○	○	○	△	△	○~△	○~△	△	○	◎	
	陸屋根	×	○	○	○	△	○	×	×	○	○	×	
	アーチ屋根	○	△	○	○	○~△	△	○~△	×	○	○	◎	
	ドーム屋根 円錐状屋根	○	×	△	△	×	×	×	×	△~×	○	◎	
	反り屋根	○	△~×	△~×	△~×	△~×	×	△	△~×	△~×	○	◎	
	2方向曲面	○	△~×	△	△	△~×	×	×	△~×	×	○	◎	

#標準的な考え方を示した。メーカーによって異なることがあるので、採用に当たっては確認のこと。

#折板のアーチ屋根の最小曲げ半径は、鉄骨の不陸の影響を受けやすい。表中の最小曲げ半径は、不陸が「0」の場合。

◎:最適 ○:適用可能 △:適用可能であるが特殊構法の採用が必要 ×:一般的には適用しない ※(一社)日本金属屋根協会から転載